

## 編集後記

### 日本機械学会技術と社会部門のニュースレター32号をお届けします

従来のニュースレターは広報委員会から執筆依頼をしていました。先日、同一担当者が複数回担当する部門行事は2016年度まで記事執筆依頼無しに当該担当者から掲載依頼できるように提案しました。提案した意図の一つは省力化です。

私事ですが、我が家はフルタイムの共稼ぎで、子供が3歳です。私も家事や育児をします。以前、子育て支援の利用を考えました。しかし、1日に12時間や15時間働くための支援ではないようです。自分の仕事を見直す必要を感じました。

今回の提案はそういった見直しの中の「ささやか」な試みです。私も行事を担当させて頂いていますが、掲載依頼に気を遣いたくないという打算もあります。「執筆者が読んでもらいたい記事」と「広報委員が読みたい記事」で構成できれば、より魅力的なニュースレターにできないかとも思います。

広報委員長任期終了間際の提案は、退室間際の放屁のようです。一方、同じく任期終了間際ですが、今回のニュースレターは力作が揃っています。よろしければ知り合いの方にお勧めして頂けると幸いです。よろしくお祈りします。

なおブータン国際会議の原稿は広報委員会が原稿を受け取る前に緒方元部門長と池森元部門長が文章校正をしてくださいました。

広報委員会委員長 加藤 義隆 (大分大学)

発行：一般社団法人 **日本機械学会**

The Japan Society of Mechanical Engineers

技術と社会部門

部門長 高田 一 (横浜国立大学)

事務担当 曾根原 雅代

2015年2月27日発行

ISSN 2185-3177

編集：第92期 広報委員会

委員長 加藤義隆 (大分大学)

幹事 佐藤 智明 (神奈川工科大学)

委員 小宮 聖司 (神奈川工科大学)

滝谷 俊夫 (日立造船)

吉田 敬介 (九州大学)

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.32

(C)著作権:2015 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門